

恋する川柳物語かわら版



其の二十七 第二十六回「恋する川柳」―【春】恋する川

柳編―の応募作品集です。恋する気持ちを詠む川柳「恋する川柳」春編では、『ご縁・御縁（ごえん）または縁（えん）』という言葉を句に詠み込むというお約束でしたね。

3月23日、ついに、私たちの道の駅の正面を横切る高速・鳥取自動車道が全線開通しました。それからの時間の流れがとりわけ早かったこと早かったこと！正直ここまで人の流れがよく動くとは、予想できませんでした。ですが、自分でも「エライ！」と思わず自分を誉めてあげたくなったのが、今年の地元の桜前線の予想は見事に的中したこと☆9歳の可愛い息子ちゃん孝行と、彼氏さんとの夜桜デートと、今年は久しぶりに充実した春を過ごせられました。

それでは、各地の「恋する川柳仲間」のみなさまは、この春の作品にどんな想いを込められたのでしょうか…のんびり覗いてみましょう♪

ってなことで、ほな、今日もぼちぼち見てつかあさいな。

【応募作品一覧】

◆ 運命は 未定ご縁は つかみ取る（P・Nほにやらか）

◆ 「かわはら」で 川柳の縁 六年が（兵庫県）

◆ 夜桜の 下で焦がれて 君を待つ

◆ チューリップ 見れば君の 笑い顔（P・Nいろは）

◆ あの日傘 花見ご縁に また出会い（P・N小星）

◆ 誰しもが ご縁があって 結ばれる

◆ 川柳を 投句出来るも ご縁有り（鳥取県）

◆ 御縁あり 恋する妻と 八十路

◆ 春彼岸 先祖と御縁 これも恋（鳥取県）

◆ お賽銭 膨らむ恋の ご縁（五円）なり

◆ ご縁かな いつしか自然に 手を結ぶ

（P・N源田 繁太郎）

◆ 想い出や 甘くせつない さくら色（石川県）

◆ ご縁かしら 姫の恥じらい 恋の色

◆ ご縁です 蜜蜂マーヤの 花粉症（P・N茶々丸）

◆ ご縁呼ぶ 五円忍ばす 春財布（P・N子夏）

◆ カレカノの 肩に落ちたよ 梨の花（P・N伸子）

◆ 縁あれば 細い糸でも 切れやせぬ

◆ 牡丹みて 今の女性と 見比べる（P・N大和の雨蛙）

◆ 移動時期 今年は巡り 会えるかな（P・N夕樹）

◆ お日様の ご縁よろこび 樹が伸びる（P・N艶子）

◆ 雨やどり ご縁あれよと 神頼み

◆ うば桜 枯らすもんかと 僕の嫁（P・Nおさぼう）

◆ 春雨が 仲人役の 私達（兵庫県）

◆ 一日に 二度会いチャンス ご縁かな（P・N虎次郎）

◆ これも縁 縁が取り持つ 清流茶屋（P・N曲者）

◆ この傘が ご縁となって きみとぼく

◆ 待ち合わせ 縁起かついだ 服にする（兵庫県）

◆ お願いよ 御縁神様 ふり向いて

◆ 恋するか 春のスタート わくわくだ（鳥取県）

◆ こじつけの キスに笑った チューリップ

◆ 夢覚めず 白詰草のティアラ 乗せ（P・Nかずちゃん）

◆ イケメンと 縁つくる術 募集中 (P・Nぱぐ美)

◆ 縁あって 僕のパンツを 洗う妻

◆ 田舎では 野良猫にさえ 縁がある (P・Nしめじ飯)

◆ きみとぼく ご縁頂き 珊瑚婚

◆ このご縁 きみと二人で 歩む道 (P・N仁)

◆ 良きご縁 ここまでくれば 腐れ縁

◆ 縁結び ほどく努力 倍かかり (P・N悠々愛々)

◆ よきご縁 求めて旅は 出雲路へ (P・N次男坊)

◆ 好きな彼 ご縁が結ぶ 赤い糸

◆ 君に逢う 恋のご縁を 信じたい (P・Nかのん)

◆ セールスマン 故郷が縁で 大人買い

◆ 婚活も 縁が結びて 卒業す (P・Nみずなす)

◆ すっぴんで グチ言いあって 縁つづく

(P・N古都の乙女)

◆ 早春の 日差しぐらいの 幸でいい

◆ 藤の花 つらつらつらと 恋の文 (P・Nぶちの白馬)

◆ 明日から ふたりで暮らす 梅のとき

◆ コスモスも あなたと過ごし いま桜 (P・Nニョッキ)

◆ 雑草も ご縁があって 我が庭に (P・N清少納言)

◆ 宝くじ 縁がないのか 運なのか

◆ 春の宵 相手を誘う 猫の声 (P・N竹子デラックス)

◆ プレゼント 買ったら残高 五円(ご縁)なり

◆ 結婚は ご縁 勢い タイミング (P・Nベーちゃん)

◆ 縁あって あなたのパンツ 洗ってる (P・N姫ちゃん)

◆ 必然の 縁だったから サファイア婚

◆ たんぽぽの 黄いも綿毛も 愛おしい (P・N春爺)

◆ 共通点 たっくさんあるのって ご縁だね

(P・Nゆうみみん)

◆ 川柳が 御縁で君と 春迎え

◆ 夜桜を 観に来て出逢う 縁と縁 (P・N臨海和笑)

◆ 花吹雪 恋が止まない 春の宵

◆ 縁樹に 恋を語れば 寝つかれず

(P・N京都のみっちゃん)

◆ ほやほやの 春が二人を 祝福し

◆ 助手席に いつもと違う 春匂う (P・Nごん太)

◆ 縁側で 抹茶をすする 影ふたつ (P・N銀次郎)

◆ オタノミクス 株下げないで 縁上げて

(P・Nまーちゃん)

◆ 縁あって くの字のこころ のの字なる

(P・Nでめちゃん)

◆ 制服の 第2ボタンが 欲しい春

◆ また来たわ 私の好きな 恋の春 (P・N花咲き夢子)

◆ 入学式 写真は端と 端だった (P・Nひぐらし)

◆ なんの縁 孫の可愛さ 理屈抜き

◆ 縁あると 思っているの こっちだけ

(P・Nよったんぼうや)

◆ 赤い糸 縁のしっぽを 手繰り寄せ

◆ 縁あって 出会った貴方に 最後の恋 (P・N鬼小町)

◆ 恋心 静かに燃ゆる 桜雨 (P・Nふう)

◆ お賽銭 五円で御縁 手繰り寄せ (P・N みぢんこ)

◆ 縁あって 二人漕ぎ出す 夫婦船

◆ 春巡る 遠いあの日の 恋心 (P・N ほろ酔い)

◆ 夜桜に キミのうなじと 気が付かず (P・N 氷川の杜)

◆ ご縁です 隣にちょこん お雛様

(P・N paipai ibuchin)

◆ いい縁と やっと思えた 老夫婦 (P・N 共白髪)

◆ 縁ありて 嫁いだ彼に 円がなし (P・N 貧乏くじ)

◆ 馴れ初めの 縁は三朝の 混浴湯 (P・N 銀河伝説)

◆ 我が娘 今年こそはと 縁結び (P・N よつは)

◆ 神頼み ご縁を願い 五円玉 (P・N 白い負け犬)

◆ せせらぎが 恋歌になる 川の春 (P・N 琴音翼)

◆ 夫婦して 季節楽しむ ふきのとう

◆ 娘の縁を 求め出雲路 夫婦旅 (P・N ゆうな)

◆ 世の摂理 『引力』という ご縁あり

◆ 円になり 縁を盛りあう 花宴 (P・N お酢)

◆ ご縁をと 大きく鳴らす 宮の鈴

◆ 春風に 揺れる少女の 恋心 (P・N すみれ)

◆ 御縁とは 一期一会の 巡り会い

◆ いつまでも ご縁忘れず 二人旅 (P・N ワタミツ)

◆ さくら咲き 恋するあなたと 出会う旅

(P・N 働き蜂ちえちゃん)

◆ 桜散る 今年も君に 思い秘め (P・N 西宮のフーコー)

◆ 夜桜で 寄り添うふたり 虹の色

◆ 夜桜に 唇寄せて 頬紅く (P・N れんこ)

◆ 告白へ 背中を押して 春の風 (P・N PON5)

◆ 春の恋 夏まで行けば 縁談に

◆ ご縁です 決まり文句で 明日がある (P・N 小言悠三)

◆ 桜舞う 巡礼の旅 御縁樹で (P・N 綾小路むらひろ)

◆ 下さいと なかなか言えぬ 第二ボタン (P・N 歌仙草)

◆ 初恋は 桜のような 風情あり

◆ 永遠の 桜のような 君が好き (P・N たかさま)

◆ ご縁あり おみくじの言い 信じてみる

◆ ご縁得た ホームで見送る 新生活 (P・N おおもり)

◆ 気温より マスク姿で 春を知る

◆ 新しい ブックカバーが 似合う春 (P・N 清詩薫)

◆ そのご縁 神様からの 贈りもの

◆ 縁結び 何度まいれば 叶うやら (P・N 夢追い人)

◆ 旅立ちの 子の背にひとひら 春がゆく

◆ 恋心 くすぐる出会い 花の宴 (P・N やまちゃん)

◆ ノラ猫が 人に媚うる 桜道

◆ まだ少し 夢もあります 古稀の春 (P・N こうちゃん)

◆ 僕の恋 春風に乗せて あの娘まで

(P・N 高塔山の河童)

◆ 嫌々が なぜだか好きに なるご縁

◆ 出逢いの日 定めのご縁か 恋におち (P・N 湘路)

◆ 春の花 香りを放ち 君を恋い (P・N 散歩)

◆ 春惜しみ 行き交う人の 恋眩くて

◆ 池水に 恋する藤の 影二つ (P・N すふいんくす)

◆ 縁あれば 来世でもきっと 会えるよね

(P・N 真田 菜摘)

◆ 葉桜の さくら祭りも 君となら (P・N 好日郎)

◆ 願うのは 揺れ鳴る絵馬に 縁結び (P・N けいたけ)

◆ 春なのに マスクで恋など 語れない (P・N ぽっち)

◆ トキめいて 春の嵐に 眠られぬ (P・N 雪子)

◆ 恋しくて メールの文字が さくら色 (P・N ふくりん)

◆ 春風が 私の気持ちの 肩を押し

◆ 丸顔の 私とあなたの 優しい縁 (P・N だー)

◆ 春菜の レシピ聞く娘 (こ) や まさか恋?

(P・N ボケ爺さん)

◆ 真っ先に メールで知らず サクラ咲く (P・N 奴だこ)

◆ イケメンで お金持ちでも 縁がない

◆ 恋をして 心身ともに 春うらら (P・N クジラ)

◆ 還暦は 縁ある夫婦の 折り返し

◆ 桜舞い ひとひら願う 一途な思い (P・N せんちゃん)

◆ 縁出来て 箱入り娘 箱を出る

◆ 騙されて 三十年の くされ縁 (P・N ポンタロウ)

◆ 目が合った ご縁で君は うちの猫 (P・N 古都里)

◆ 超嫉妬 彼と桜が 見つめ合い

◆ 友だちの 友だちにある 恋の縁 (P・N 真昼)

◆ 縁台で 指す人を待つ 将棋駒 (P・N 三つ柏)

◆ 縁嬉し 一期一会の バスの旅 (P・N 一本木)

◆ 咲いている 桜に雪が 惚れて降り

◆ 春うらら 想いが一つ 揺れだして

(P・N いしざわ こーど)

◆ 縁あって 結びし縁は あなただけ (P・N 愛妻家)

◆ 道連れの 旅でも縁は 選びたい (P・N ひとり旅)

◆ 告られて これも御縁と 初デート (P・N 無無)

◆ 四十越え やっと縁でき ハネムーン

◆ 湯上りの すっぴん美人 旅の縁 (P・N ヒデじい)

◆ 縁あって 一期一会に 恋生まれ (P・N 白ネコ)

◆ 披露宴 恋のかけらが 縁結ぶ (P・N さちみ)

◆ 神様に 願ったご縁 ハズレくじ (P・N まじっく)

◆ デート場所 二人の希望 「御縁樹」で

◆ 健康と 御縁求めて 散歩する (P・N 畑耕作)

◆ 靴踏んで 謝ったのが 縁でした

◆ あの世でも 縁続くのか 嫌になる (P・N しげき)

◆ 縁結び お参り帰りに 君に逢い (P・N ゆっけ)

◆ 春爛漫 僕の想いは 何分咲? (P・N みつかいかさ)

◆ 夜桜は 相合傘に 身を寄せて

◆ バス停で 寄り添う影の ご縁です (P・N かたおもい)

◆ あの人を 想えば心 春霞

◆ おむすびと 天婦羅の縁 天むすに (P・N 八十日目)

◆ おどろいて 見せ「縁だね」と 待ち伏せて
(P・N 焼けぼっくい)

◆ 春うららら ご縁感じる 出遣いあり

◆ 出遣いあり ご縁ですねと 恋模様 (P・N 泰平楽)

◆ 縁求め 花見で合コン 姥桜 (P・N ふっきー)

◆ 早咲きの恋 新緑の 桜祭りで 語る恋
(P・N 船岡五郎)

◆ 御縁の実 甘く大きな 恋の実に

◆ 縁あって あれからずっと 夫婦旅 (P・N 小田慶喜)

◆ 御縁樹に 小さき恋の 芽吹きあり

◆ 古の 縁の香る 春の恋 (P・N 小田和子)

◆ 御縁樹が 紡ぎ出してる 赤い糸

◆ 早春賦 聴くたび想う お下げ髪 (P・N 茨木和朗)

◆ 日本人 恋を桜で 結ぶ縁 (P・N せいいち)

◆ 縁あって 嫁ぎ縁なく 別れけり (P・N 合縁奇縁)

◆ タンポポの 綿毛に明日の 想い乗せ (P・N 夢子)

◆ 桜散る 家では満開 記念写真 (P・N つん)

◆ ご縁とは 神の創った ストーリー

◆ 縁結び 乙女の聖地 出雲かな (P・N いずみ)

◆ 五円でも 心のご縁 膨らんで

◆ 縁結び 樹にもすがって 沙汰を待つ (P・N 写楽)

◆ 待ち人が 来るかどうかは 縁次第 (P・N しかおとこ)

◆ 縁結び 赤い糸の 先は誰 (P・N ジョイン)

◆ 花びらを「好き大好き」と縁を待つ (P・N 花キャベツ)

◆ 金婚も 縁と絆の 共白髪

◆ ご縁樹に そっと結びし 紅の糸 (P・N 湯たんぼ)

◆ 晩春の 散りゆく桜に 思い込め

◆ 春風に そっと思いを 寄せてみる (P・N 小林番茶)

◆ 声かけた あの日の自分が 縁結び (P・N けるたん)

◆ 縁あって 情愛長じ 介護合い (P・N 春ばあ)

◆ 結ばれる 縁だと自信 あるけれど

◆ 振り向かぬ 人の気を引け 春の風 (P・N 素人)

◆ 春が来て 恋の御縁の 気配する (P・N とんちゃん)

◆ 桜ふる 恋する頬と おなじ色 (P・N ももぶに)

◆ 運命は 未定ご縁は つかみ取る (P・N ほにゃらか)

◆ つくし取り まぎれて四葉で おまじない

◆ お花見で 花より団子 男子かな (P・N カエツクン)

◆ ひとひらの 桜舞い来て 恋に落ち (P・N ゆみこ)

◆ 縁結び 糸が見えるか 白兔

◆ 縁合わす 札名気になる 神無月 (P・N 蝨斯)

◆ 卒業と 共に初恋 花吹雪 (P・N 恋々)

◆ 花時計 恋の時刻の 春の花

◆ 告白を 受ける私も 桜色 (P・N かきくけ子)

◆ 恋の待つ 茶屋で一服 出会う縁 (P・N 東葉)

◆ 夜桜の 力を借りて プロポーズ (P・N あかね雲)

◆ 「銀婚」の 「縁」 たけなわに 締めはなし
(P・Nヒメ父)

◆ 花が咲き 蝶も小鳥も 恋語る

◆ 新学期 みんなウキウキ ハート飛ぶ (P・Nよし得)

◆ 賽銭の 5円落として 繋ぐ縁

◆ あたたかな あなたのせいで 恋芽吹く (P・N白梅)

◆ 釣り五円 渡す手が触れ 結ぶ縁

◆ 里帰り 縁日出会い 結ぶ縁 (P・Nミニロック)

◆ ゆるキャラに 似ていて縁が 始まった

◆ 五円玉 いくつ入れれば 縁は来る (P・Nれんじい)

◆ 七不思議 よりも不思議な 縁がある

◆ 人事には 縁を感じる これ必須 (P・Nかめのこ)

◆ 大吉に 入念メイクで 花見会 (P・Nしゅう・かつ美)

◆ 縁起物 すべて身に付け 婚活す (P・Nとりびあの)

◆ ペアルック 縁起物だと 照れ隠し

◆ 赤い糸 手繰り疲れて 春惜しむ (P・N恋メタボ)

◆ 南風 タンポポ恋乗せ 飛んで行く

(P・N guamkai)

◆ こころにも 春が来るよな 新人さん

◆ 異動して キュンときめく 人に会う

(P・Nすんまそん)

◆ 川柳が 縁で立ち寄る 道の駅

◆ 良縁が 続き財布の 泣き笑い (P・Nとーさぶろー)

◆ 御縁 (5円) では 崩しきれない 一圓 (1円) の愛

(P・Nはる)

◆ 春めぐる ご縁あつての 今があり (P・Nうらら)

◆ ふりむくと きっと縁だね!? 君がいる

◆ ぼくと君! 桜のような ほっぺだね!!

(P・NHIKARU)

◆ 御縁樹に 祈って恋を たぐりよせ

◆ 花嫁は 幼なじみと いうご縁 (P・N颯爽)

◆ やわらかき 縁をかさねて 桜咲く

◆ 乾杯の グラスに 揺れている桜 (P・Nまりりん)

◆ エンゲージ これからずっと 歩もうね

◆ 桜色 甘いわたあめ 甘い恋 (P・NDのヤス)

◆ 縁安も 好きな彼女は まだ高嶺 (P・Nみど留)

◆ 緑ちゃん 縁と書いたら はい終わり (P・N策々)

◆ 桜散る 頃にあなたへ 嫁ぎます (P・Nしかおんな)

◆ 縁だけで あなたと生きて きたでなし

(P・Nあいらむ)

【番外編】

◆ 金環見 四十なかば 千の華絵子 (岡山県)

◆ 逝くまでに 燃ゆるが如き 恋したし

◆ 八神さま 教え給えよ 恋の術 (京都府)

◆ 恋のチャンス 逃した結果 今の夫 (兵庫県)

◆ 恋すれば 夢だけ膨らみ 何も言えず (P・N虎次郎)

◆ ペン先の 甘い囁き 恋の詩

◆ 黄昏で ささやきかえす 夫婦花 (岡山県)

◆古き恋 約束の地で 咲き乱れ

◆初恋を 遠征先で 思いだし (P・Nむこう)

◆鳥取は スタバないけど スナバあり

◆スタバより 砂場で恋を しませんか (P・N信夫 祐司)

◆イニシャルの 一つを胸に 抱く季節 (P・Nかぐや姫)

◆そうですか 私も乗り鉄 ファンです (P・N氷川の杜)

◆吹雪には 君の帰宅の 無事案じ

(P・Nクンタ・キンテ・ジャパン)

◆新生活 恋のつぼみ 揺れ動く (P・N P O N 5)

◆恋という 魔法が解けた 父と母

◆ドキドキが 5年も経つと トキドキに
(P・N怪傑もぐり33世)

◆歳重ね 今なら言える 恋心 (P・N高塔山の河童)

◆肉食も 草食もいて 甘味茶屋 (P・Nあるふおんそ)

◆ああさみし 新聞恋しや 休刊日 (P・Nキスズマユミ)

◆相傘は より濡れた方が 惚れている

◆ちゃん付けて 呼び合う夫婦は 同級生 (P・N黒潮)

◆半世紀 前のほっぺを 庭に見る (P・N翔のんまな)

◆果てしなき 青、白、薄紅、あなた、と私 (P・Nふみ)

◆握る手が かすかに震える 初デート (P・N無無)

◆出張で 居ないあなたの 席を拭く (P・N夢子)

◆ユーチューブ 美形の歌い手 群れなして (P・N瑠璃)

◆夢を見た その日から君 好きになる

◆加速する ノック知らずの 恋心 (P・N中前りおん)

◆隠すほど 気付いて欲しい 恋心 (P・N暮色の天使)

◆君と会い 奇蹟を知った 道の駅

◆目に入れて 連れて行きたい 孫ふたり (P・N仁)

◆恋と愛 マドラーでちょっと かき混ぜる

(P・N雄之介)

◆あの場所で 出逢ってなければ 今は他人

(P・Nけるたん)

◆触れた肩 今日も洗わず 風呂入る (P・N角 奈緒也)

◆奇遇だね 不器用者の 合言葉 (P・N木之影)

◆携帯見 トイレでにんまり 子の笑顔 (P・N遠夢乞D)

◆好きなんだ そんな言葉に 夢を抱く (P・N M・G)

◆小吉で ちょっと微妙な 恋みくじ (P・Nとりびあの)

◆三十路過ぎ 恋する思いが つのるだけ (P・N雀の涙)

◆初デート 待ちきれなくて 恋心 (P・N阪神優勝)

◆出くわした トイレの前から 臭い仲 (P・Nみど留)

◆席替えて 隣同士の 君と僕

◆たまたまの 隣の席が 二度三度 (P・Nてるてる坊主)

【特別賞】

◆お前との この縁異なもの 乙なもの (兵庫県)

《一言》まさにそのこと！縁って本当に分からない。

◆ ごえん (五円) では ちと無理じゃのう 神の声
(P・N 次男坊)

《一言》こんなほのぼのした神様がいてもいいかも♪

◆ 縁結びの 神にかしわ手 五歳の娘 (P・N 清少納言)

《一言》五歳でも立派な「女」なんですわねえ…ウフッ♪

◆ 円安で 海外やめて 道の駅 (P・N 老虫)

《一言》百点満点☆みなさん、いざ道の駅へ〜!!

◆ いつの間に? 縁をつかんで 子は巢立ち

(P・N かくれんぼ)

《一言》これを地でいった弟は、家族皆を驚かせました。

◆ 顔を見せ いいね! いいね! で 縁結ぶ

(P・N しゅう・かつ美)

《一言》フェイスブックに顔写真出してるんですけどね。

◆ 逢いたいと 思えば逢える これが…縁!?

(P・N HIKARU の マミー)

《一言》一度くらいこんな事ありません? 共感しまくり

◆ 赤い糸 見えた気がした 入社式 (P・N 鼓吟)

《一言》「入社式と赤い糸」なんて素敵な響きでしょう…。

◆ 縁あって 野猿住む土地 嫁ぎ来る

(P・N 思えば遠くに来た花嫁)

《一言》野猿住む河原町に来たれ!! 花婿たち☆

◆ 御縁樹の下で まだ見ぬ あなた待つ (P・N ぱぐ美)

《一言》こんなポスターを作るのが夢なんです。

※以上十名様には、秀句としてまきと〜ル (因幡仕様)

をお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかった次の三名の方の作品も、プチ特別賞としまして、**因州和紙 福玉ストラップ**をお届けします。

◆ 夜桜と あなたに酔いしれ 兼六園 (石川県)

◆ 縁安で 売り手市場の はずなのに (P・N ばいなりい)

◆ 初孫の 血縁感じる そのしぐさ (P・N 古都の乙女)

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、掲載を二句までとさせていただきます。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム (P・N) の付していないものについては、宛先のみご紹介させて

いただいています。

また、抽選の結果発表については、発送をもって代えさせて頂きます。次回の【夏】「あなたと結ぶ (歩む) 川柳」編は六月に募集しますので、お見逃しなく☆

by. KISAKI HIMEKO
(郷土神話観光
コーディネーター
☆)

鬼のような忙しさの G.W が終わったのも束の間、今度は「地域の学校づくり」新プロジェクトや、広島での中国道の駅総会の発表の準備に、大わらわ…(*_*) 既に師走のような忙しさに、25 年はもう終わったような気分である私です。ですがひとついいことも♪企画の関係もあって、やっと「ノルディックウォーキング」の良さに目覚めました! 新緑の季節に運動できる喜びは、何にも代えがたいですね。これでまた一步美しい八上姫様に近付けたかな…)^o^(???

